



針金 勝彦
(平政会)

生活保護の 現状と対応

質問 最近、生活保護辞退者に係る報道を目にするようになったが、県内各市の中でも上位の保護率となっている本市において、保護の相談に來た方々や受給者を訪問し近況確認を行うケースワーカーの業務量の現状はどうか。またその対応は。

答弁 ケースワーカーの主な業務内容は、保護費の決定事務、被保護者世帯の訪問、指導方針に基づく指導のほか、新規の生活保護に関する相談への対応、申請に伴う各種調査などである。各地区担当ケースワーカーは8人で、平均86世帯を担当している。月平均訪問件数は約30件となっているが、定期訪問とは別に、被保護者への随時の訪問のほか、新規申請による世帯訪問や医療機関等への訪問を実施しており、随時の訪問の増加により業務量は年々多くなってきた。今後も適正な保護の実施に努め、セーフティネットとしての機能を果たしていく。

放課後の 児童生徒の居場所

質問 本年度より教育委員会が主導し、原則としてすべての小学校区で放課後の子供の安全で健やかな活動場所を確保し、総合的な放課後対策として実施する放課後子どもプランが提唱されているが、教育委員会の考えはどうか。

答弁 放課後子どもプランは、学校の余裕教室等を活用しながら、すべての子供に放課後や週末の安全で安心な活動拠点を確保し、地域の方々の参画も得て、さまざまな体験活動や学習活動を行う放課後子ども教室や推進事業と、留守家庭の児童に対して生活の場を提供する放課後児童健全育成事業を、一体的あるいは連携して総合的な放課後対策として実施するものである。この実施については、2つの事業が異なっていることから、一体的あるいは連携して実施することは難しい状況であるが、児童の居場所の必要性、保護者の意向ながら、放課後の子供たちの安全・安心な居場所づくりに努めていきたいと考えている。

針金議員のその他の質問事項

- 生活保護の決定方法は
- 留守家庭児童生徒の数と指導方法
- 留守家庭児童の学校施設利用状況



藤田 克美
(市民の声)

農業集落排水事業

質問 農業集落排水事業は、1地区は供用開始しているが、他の6地区は事業着手できない状態である。アンケート調査でも農業集落排水施設の希望は低い水準にある。全員の同意を得ることは困難であり、地域に方向性だけは明らかにすべき。

答弁 この事業は、現在供用中の浜浅内地区を含め、7地区を整備する計画であるが、これまで、この地区以外からの要望はない。18年12月にこの未整備地区6地区に対し、住民意向調査を実施したところ51%の回答で、質問項目のうち「農業集落排水事業の実施を早急に、あるいは3〜5年後に実施してほしい」は45%の回答に対し、「実施する必要がない」は31%の回答であった。市は今後、県から提供される費用便益資料等を受け、地区ごとの費用対効果の判定やアンケート調査の結果等を総合的に検討し、順調に進めば来年度早々に地域の方々に方向性を示したい。

二ツ井地域 水道整備計画

質問 加入希望者の率が低いために、水道整備計画が進まない。現在、水量不足、水質が悪い地域からは要望が多くあり、これらの地域に早く上水道を通すべきである。また、消防水利などが悪い地域もあり、どのような手法で整備が可能か検討すべき。

答弁 二ツ井地域水道整備事業計画について、平成16年の調査で加入回答が34%、今年2月の調査では加入回答は41%となっており、前回の調査に比べ水道整備への理解は若干ふえたが、現計画どおりの5地区全体の整備を進めるには大変厳しい状況と考えている。市は、二ツ井地域の水道整備の必要性を十分認識しており、現計画を踏まえつつ、現在、加入回答の高い地区や水質等で苦慮している地区を絞り込みながら、段階的な整備の可能性や整備規模、また、事業費や財源の確保、料金設定等について内部検討を行っている。年度内には方向づけしたい。

藤田議員のその他の質問事項

- 光通信などの整備状況
- 能代市連合消防団